地球環境基金へご寄付を検討されている皆様へ(必ずお読みください)

地球環境基金へのご寄付を検討いただき、誠にありがとうございます。

ご寄付にあたっては、以下の事項を表明、確約した上でのご寄付とみなしますので、必ず以下お読みくださいますようお願い申し上げます。

1. 寄付者は、次の各号のいずれにも該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことを表明、確約します。

- (1) 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者(以下「反社会的勢力等」という。)
- (2) 反社会的勢力等が経営を支配していると認められる関係を有する者
- (3) 反社会的勢力等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有する者
- (4) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、反社会的勢力等を利用するなどしている者
- (5) 反社会的勢力等に対して、反社会的勢力等であることを知りながら資金等を供給し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有する者
- (6) 環境の保全を目的とする関係法令に基づく処分を受け、又は罰則に処せられた日から5年を経過していない者

2. 寄付者は、自ら又は第三者を利用して次の各号の一に該当する行為を行わないことを表明、確約します。

- (1) 取引に関して、脅迫的な言動、不当な要求又は暴力を用いる行為
- (2) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為
- (3) その他前各号に準ずる行為
- (4) 犯罪によって得た金員での寄付行為
- (5) 機構の商標及び名称を許可無く使用する行為
- (6) 寄付の対価として、何らかの利益又は便宜供与を機構に対して要求する行為

寄付者は、上記のいずれかに反したと認められることが判明した場合及び、上記表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、催告その他の手続を要しないで直ちにこの寄付を解除(寄付金を返還)されても一切異議を申し立てず、また賠償ないし補償を求めないとともに、これらにより機構に損害が生じた場合は、全て寄付者の責任とすることを表明、確約します。

以上